

行田市観光レンタサイクルの 設置場所が増えました

市では、観光案内所（JR行田駅東口）、郷土博物館、はにわの館、古代蓮の里で自転車の無料貸し出しを行っています。2月17日（水）からは、次の2カ所でも貸し出しを始めましたので、ご利用ください。

▶追加施設

- 行田市観光ガイドステーション（足袋蔵まちづくりミュージアム内）
- NPO法人さくらメイト事務所（秩父鉄道東行田駅前）

▶利用時間

午前9時～午後4時（ただし、行田市観光ガイドステーションは午前10時～午後4時）

▶問い合わせ

商工観光課観光担当
（内線382）



2月4日、行田地区更生保護女性会創立50周年記念式典が商工センターで開催されました。

同会は、昭和35年に行田地区更生保護婦人会として発足し、社会を明るくする運動への参加、矯正施設への訪問などをはじめ、刑務所に入所し社会復帰間近な少年の奉仕活動を支援するなど、「社会の母」としてさまざまな更生保護ボランティア活動を続けてきました。式典では、50年の歩みをスライドで上映し、これまでの活動を振り返るとともに、非行や犯罪のない地域社会づくりに向け、決意を新たにしました。

行田地区更生保護女性会が
創立50周年を迎えました

市民公益活動フォーラムを開催します

昨年11月にリニューアルオープンしたコミュニティセンターみずしろでは、施設内に新たに「市民公益活動情報コーナー」を設け、市内で活動している市民公益活動団体をはじめ、市民公益活動に関するさまざまな情報を紹介しています。

そこで、同コーナーおよび市内で活動している市民公益活動団体の活動の様子を市民の皆さんに広くお知らせするため、次のとおり市民公益活動フォーラムを開催します。市民公益活動やボランティア活動に興味のある方は、ぜひお出掛けください。

▶日 時 3月27日（土）

【第1部】午後1時30分～2時30分（予定）

【第2部】午後2時30分～4時30分（予定）

▶場 所 コミュニティセンターみずしろ 1階ギャラリー・市民公益活動情報コーナー

▶内 容

【第1部】ものづくり大学まちづくり研究室による市民活動に関する研究成果の発表

【第2部】市内で活動している市民公益活動団体の活動紹介

▶入 場 料 無料（入退場自由）

▶問い合わせ 生活課市民活動担当（内線252）

ご存じですか 行田市市民活動災害補償制度

市では、市民活動団体やボランティア団体の活動を支援するため、行田市市民活動災害補償制度を設けています。この制度は、公益性のある市民活動中に起きた事故（市主催の行事を除く）で、団体のメンバーなどが傷害や賠償責任を負った場合の負担を補償する制度です。保険料は全額市が負担します。

▶対 象 市内に活動の拠点を置き、地域社会活動、社会奉仕活動などの公益性のある活動（政治、宗教および営利を目的とするものを除く）を継続的・計画的に行っている団体

【加入している団体の例】

自治会、ボランティア団体、青少年活動団体など

▶加 入 料 無料

▶補償の概要

補償内容	保 険 金 額
賠償責任事故 （補てん限度額）	【対人】1人につき1億円、1事故につき5億円 【対物】1事故につき500万円 ※対人・対物ともに免責1万円以下
傷害事故	通院日額2,000円 入院日額3,000円 ※事故日から7日までに治癒した場合には、保険給付は行われません

▶保険の対象外となる場合

スポーツや公民館活動中に起きた事故など

▶加入方法 加入を希望される団体は、生活課に用意してある「行田市市民活動災害補償制度登録申請書」に必要事項を記入のうえ、同課まで提出してください。

▶問い合わせ 同課市民生活担当（内線251）